

実績確認概要書

平成 28 年 8 月 23 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	高周波誘導炉への更新プロジェクト	
承認番号	KC0405	
排出削減事業者名	株式会社センシュー	
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン (その他関連事業者名株式会社：なし)	
事業実施場所	株式会社センシュー (住所) 大阪府岸和田市臨海町 20 番地の 1	
事業の概要	電気式低周波誘導炉 (金属加熱炉) 3 基およびコークス式キュポ ラ (溶解炉) 1 基を、各々電気式高周波誘導炉 4 基へ更新する。工 業炉を更新することにより、工業炉の高効率化による燃料使用量の 削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を 削減する。	
排出削減量の計画	2010 年度 6,803tCO ₂ /年 2011 年度 8,163tCO ₂ /年 2012 年度 8,163tCO ₂ /年 (国内クレジット制度 事業実施期間合計 23,129tCO ₂) 2013 年度 5,782tCO ₂ /年 2014 年度~2017 年度 5,967tCO ₂ /年 2018 年度 752tCO ₂ /年 (J-クレジット制度 事業実施期間合計 30,402tCO ₂)	
J-クレジット認証 期間	開始日	2013 年 4 月 1 日
	終了予定日	2018 年 5 月 16 日
排出削減方法論	方法論番号 003 「工業炉の更新」	

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日~2016 年 3 月 31 日 (第 4 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	19,945tCO ₂ (2013年4月1日～2016年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 4回目のため該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 更新された高周波誘導炉は実績確認期間中、継続的に稼働していることを関係者への質問、電気使用量管理記録及び生産量管理記録で確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1) モニタリング方法の確認 関係者への質問、電力使用量が記載されている電気使用量管理記録及び生産量が記載されている生産量管理記録の確認により、方法論及び承認排出削減計画に沿ってモニタリングが実施されていたことを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 関係者への質問、電力使用量が記載されている電気使用量管理記録及び生産量が記載されている生産量管理記録の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、Jクレジット制度モニタリング・算定規定（排出削減プロジェクト用）Ver.2.5及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p>

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2018年5月16日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、本プロジェクトでは省エネできていないことを確認した。

以上